

長浜の未来を紡ぐ

黒田官兵衛博覧会

奇抜な策で秀吉を天下人に押し上げた
稀代の天才軍師・官兵衛の源流は
北近江・長浜にあり

黒田家発祥の地として知られ、
官兵衛の足跡が残る由緒正しき
この地で博覧会を開催

戦国の聖地『長浜』を全国へ

市民力の結集により、各地から
訪れるお客様をもてなします



博覧会がついにスタート!

34日間というロングランで開催される黒田官兵衛博覧会が、1月19日(日)、大勢の期待をのせて開幕しました。博覧会の開幕にあたり、博覧会実行委員会の会長 林源栄さんと博覧会を支える語り部ガイドの富田敏子さんに話を伺いました。



博覧会実行委員会
会長 林 源栄さん

「人情・風情・佇まい」を感じてほしい

「市内はもとより、全国からお客さんをお迎えするにあたり、おもてなしや温もりのある「人情」、奥びわ湖・竹生島を望む風景や北国街道沿いの街並みなどから漂う独特の「風情」、そしてそこに住まう人々の生活感が醸し出す「佇まい」を多くの人に感じてもらいたい」と話す林会長。博覧会の成功はもちろんのこと、地域にもたらされる波及効果についても思いを巡らせます。

日々の暮らしに潤いを

「北部は特に若者が少なく、この状況を打破したい」と、市北部の起爆剤として期待される博覧会で地域課題を解決することにも意欲的です。「地域が活性化すると、来る人もそこに住む人も楽しくなる」。長浜を訪れた人たちがその良さを知り、それを周りの人に伝え長浜の魅力が広がる。そして、また人が集まる……そんな循環をつくることで地域を活性化させたいと言います。

人との出会いや交流が活発になれば、訪れた人だけではなく、迎えた側にも日常とは違った感覚が芽生え、それぞれの生活に愉しみや生きがい、活力が生まれる。まちづくりの機運が高まれば、多くの人がまちづくりに関わり、そのこと自体がまちの発展につながると期待を寄せています。

お互いの地域を知る

大河ドラマの影響で、昨年の秋頃から黒田家御廟所など官兵衛ゆかりの地を訪れる観光客が増えているそう。「人がよう来るようになったな」と話す地元の人にも笑みがこぼれ、観光客を歓迎する人は多いと感じている。地元の人が観光客との交流

ながはまの官兵衛 見参!

～オープニングイベント～

1月19日(日)、時折小雪が舞うなか、各メイン会場では、オープニングイベントが開催され、たくさんの方で賑わいました。

「大河ドラマ館」には、大河ドラマで「黒田重隆」役を演じた俳優の竜雷太さん、黒田家16代当主 黒田長高さん、市音楽振興PR大使のヤナギマンさんらが訪れ、セレモニーに花を添えました。

「歴史館」では、木之本町黒田在住の西川與史雄さんによる記念講演会を開催、「城下まち館」では、餅つきが行われ、集まった多くの客にふるまわれました。



①テープカット(大河ドラマ館) ②ご当地ユニット「Can' ce♡浜姫」のデビューパフォーマンス ③記念講演会(歴史館) ④餅つき(城下まち館) ⑤記念パレード(北国街道) ⑥竜雷太さん(大河ドラマ館)